

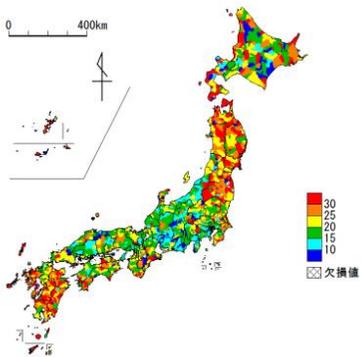
すべての国民の口腔の健康維持・向上の観点から、全ての国民の歯科疾患の原因をもとから絶ち、疾患が発生する前の状態に対してのアプローチ(一次予防)を特に強化・推進する。都道府県等による一次予防に特化した取組等の強化を通して、健康づくりに必要な環境整備を行い、個人の社会経済的要因や環境要因にかかわらず、それぞれが到達しうる最高基準の口腔の健康を享有することを支援する。

歯科疾患や歯の本数に見られる健康格差

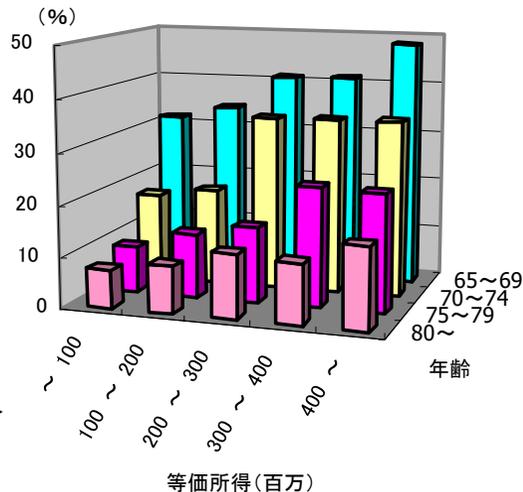
Evidence-based population approach

一次予防等強化推進モデル

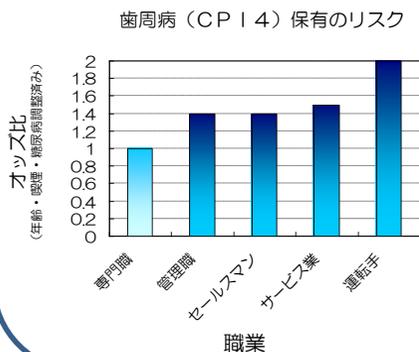
<①3歳児う蝕有病者率>



<②高齢者の歯の本数>



<③成人歯周病有病者率>



Reference:
①Aida J, Ando Y, Oosaka M, Niimi K, Morita M: *Community Dent Oral Epidemiol* 2008, 36(2):149-156.
②近藤ら 検証「健康格差社会」.2007
③Morita I, Nakagaki H, Yoshii S, Tsuboi S, Hayashizaki J, Igo J, Mizuno K, Sheiham A. Gradients in periodontal status in Japanese employed males. *J Clin Periodontol.*34(11):952-6.2007.

それぞれのコミュニティで抱える歯科の課題について、エビデンスレベルの高いポピュレーションアプローチをモデル的に実施し、健康格差の縮小及び健康増進を目指す。

委託先:外部業者(シンクタンク等を想定)

対象地区:都道府県、市区町村、企業、大学 等

(モデルメニュー例)

う蝕対策コミュニティモデル

- 大学・職場・コミュニティのフッ化物応用モデル
- シーラント普及啓発モデル
- 砂糖摂取減少モデル等

歯周病対策コミュニティモデル

- 歯科からの禁煙推進モデル
- 歯間清掃グッズ使用促進モデル
- プロフェッショナルケア促進モデル 等

口腔機能低下等対策コミュニティモデル

- 口腔機能の低下予防によるフレイルの対策モデル
- 入院患者等に対する口腔機能管理推進モデル 等